Creative Enzymes®

ネイティブウサギ乳酸脱水素酵素

Cat. No. DIA-268

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	乳酸脱水素酵素（LDHまたはLD）は、ほぼすべての生物細胞（動物、植物、原核生物）に存在する酵素です。LDHは、ピルビン酸を乳酸に□換し、再び乳酸をピルビン酸に□す反□を触媒し、NADHをNAD+に□換し、再びNAD+をNADHに□します。脱水素酵素は、ある分子から別の分子に水素原子を移動させる酵素です。
別名	乳酸脱水素酵素; EC 1.1.1.27; LDH; LD

製品情報

種	ウサギ
由来	ウサギの筋肉
EC番号	EC 1.1.1.27
CAS登□番号	9001-60-9
分子量	140 kDa
活性	> 1mgあたり250ユニット
組成	LovellとWinzor（1974）は、テトラマーがアセテート-塩化物バッファーpH 5（牛心LDHに影響を与えない条件）で完全に2つのダイマー（分子量70,000）に解離することを報告しています。リン酸塩とピリジンヌクレオチドはテトラマーの四次構造を安定化させます。リン酸塩には活性化効果があります。ChoとSwainsgood（1973）も参照してください。
単位定義	1ユニットは、25°C、pH 7.3で1分あたり1マイクロモルのNADHを酸化します。